

2028年度自由選抜入試【経済学部】出願方式の追加について（予告）

立教大学

経済学部において、2028年度自由選抜入試より、従来の出願資格【方式A】に加え、新たな出願資格【方式B】での募集を開始します。

■目的

経済学部では、将来的に公認会計士や税理士を目指す意欲旺盛な学生の獲得を目的として、2028年度入試より会計ファイナンス学科に新たに【方式B】を導入します。本方式では、すでに自らのキャリアに向けて歩みを進めており、会計・財務のプロフェッショナルとして飛躍したいと願う、熱意ある方の出願を期待しています。

■出願資格【方式B】

次の1～4の条件をすべて満たす者。

1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。

- (a) 2027年4月から2028年3月までに高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業する者。
- (b) 2027年4月から2028年3月までに通常の課程による12年の学校教育を修了する者。
- (c) 2027年4月から2028年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。

2. 本学経済学部会計ファイナンス学科での勉学に強い意欲を持つ者。

3. 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。

- (a) ケンブリッジ英語検定スコア140点以上
- (b) 実用英語技能検定〔英検〕スコア1,950点以上
- (c) GTECスコア930点以上
- (d) IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア4.0以上
- (e) TEAPスコア225点以上
- (f) TOEFL iBT で次のいずれかのスコアを取得している者。
 - 2026年1月21日より前のテストを受験した者：42点以上
 - 2026年1月21日以降のテストを受験した者：Overall Score 3.0以上
- (g) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,150点以上（IPテスト不可）

※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。

※いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。

4. 日商（日本商工会議所）簿記検定試験2級以上を取得している者で、将来、公認会計士や税理士を目指すもの。

・出願条件1(c)の詳細内容について

出願条件1(c)に記載のある「2027年4月から2028年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。」とは、以下のいずれかに該当する者を指す。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。

- (4) 文部科学大臣の指定した者（旧制学校等を修了した者は含めない）。
- (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者。ただし、2028年4月1日までに満19歳に達する者は含めない。
- (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者。ただし、2028年4月1日までに満19歳に達する者は含めない。
- (7) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。
- (8) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2028年4月1日までに満18歳に達するもの。

■選考方法（予定）

第1次選考：出願書類をもとに書類選考

第2次選考：面接試験

■募集人員

会計ファイナンス学科：若干名

*詳細は、2027年5月公開（予定）の入試ガイド、および6月公開（予定）の入試要項で必ず確認してください。

以上